

早期景気観測調査

【2-3 月期 調査結果報告書】

令和4年4月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和4年3月15日(火)～3月31日(木)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 80件
7. 有効回答率： 60.6%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【2-3月期の動き】

全体業況は▲11.3と、3期振りの悪化。特に仕入単価は▲72.5と前期と比べて大幅な悪化となった。向こう3ヶ月の業況は▲10.0と改善する見通し。

2-3月期の全業種総合の業況DIは、▲11.3（前期比7.6ポイント減）と、3期振りの悪化となった。特に仕入単価DIは▲72.5（前期比26.2ポイント減）と大幅に悪化した。向こう3ヶ月の先行き業況▲10.0と改善する見通し。

業種別では、建設業、小売業が改善、製造業、卸売業、サービス業が悪化となった。

製造業の業況DIは5.3（前期比14.7ポイント減）と2期連続の悪化となった。

○改善⇒売上DI、従業員DI ○悪化⇒採算DI、仕入単価DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

建設業の業況DIは6.7（前期比13.4ポイント増）と3期連続の改善となった。

○改善⇒売上DI、仕入単価DI ○悪化⇒採算DI

○横ばい⇒従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

卸売業の業況DIは▲17.6（前期比17.6ポイント減）と3期振りの悪化となった。

○改善⇒従業員DI、金融貸出しDI ○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

小売業の業況DIは35.3（前期比21.0ポイント増）と2期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI ○悪化⇒仕入単価DI

○横ばい⇒従業員DI、金融貸出しDI

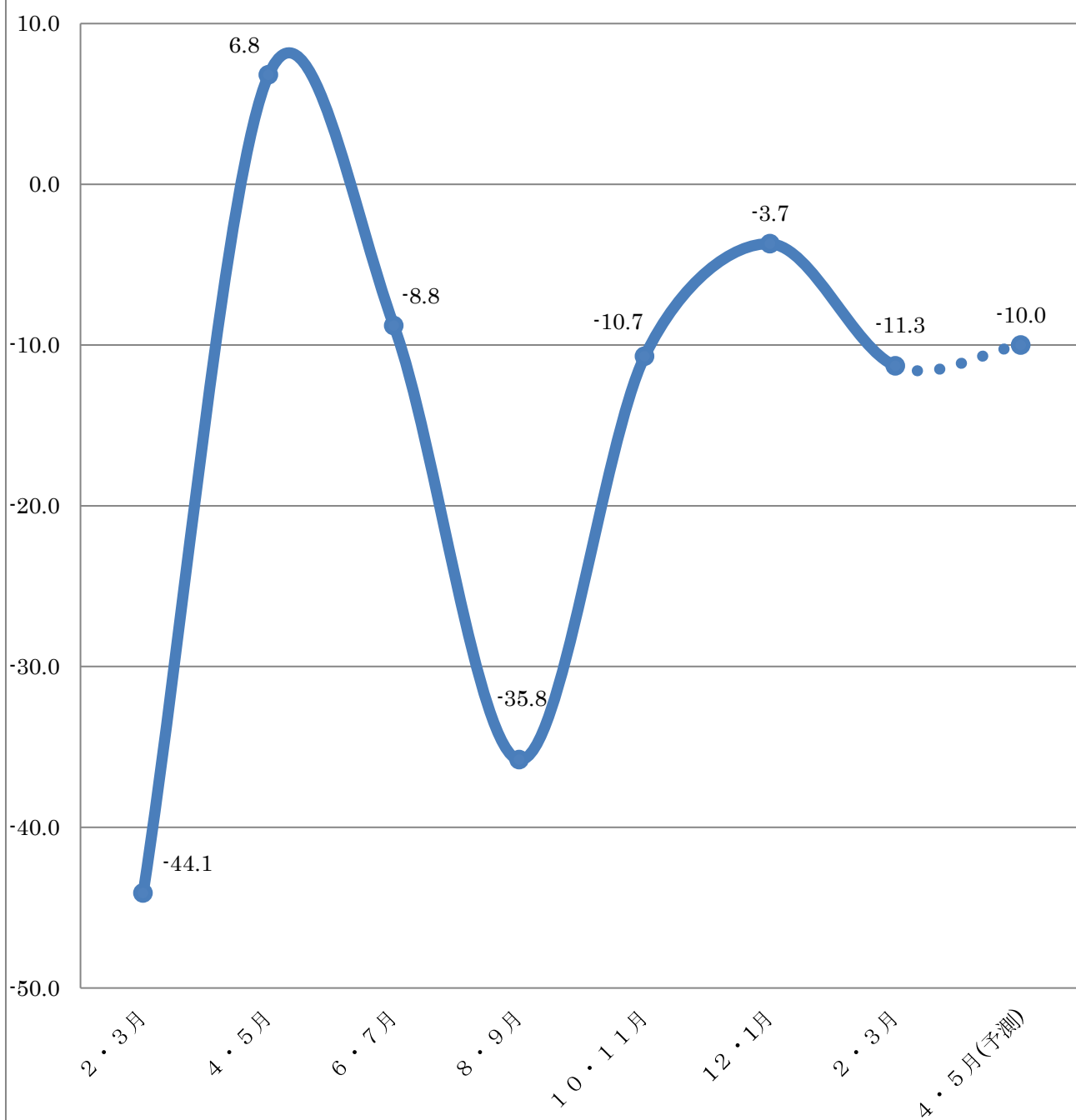
向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

サービス業の業況DIは▲16.1（前期比39.8ポイント減）と3期振りの悪化となった。

○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDI

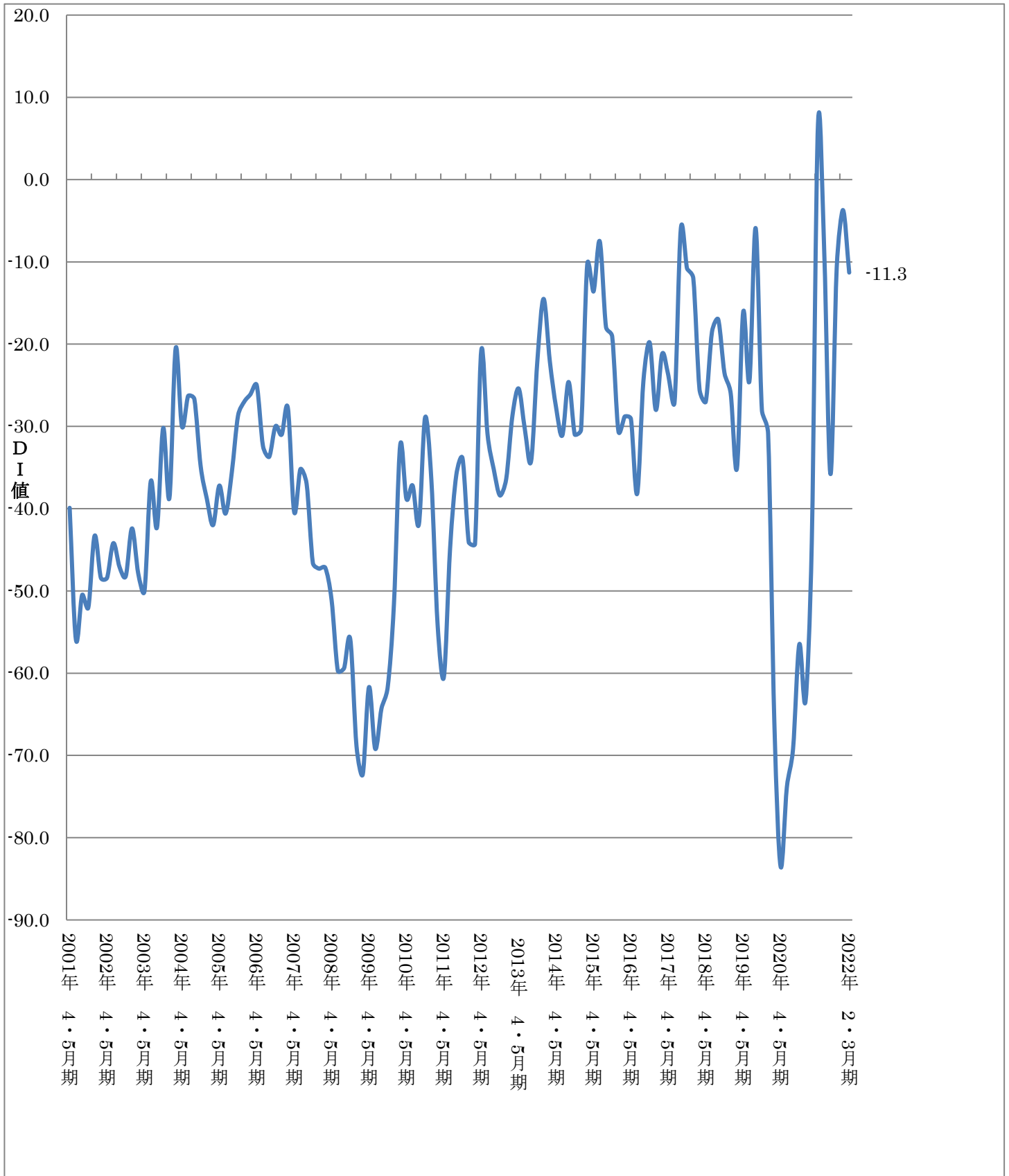
向こう3ヶ月の業況は、改善する見通し。

業況D I の推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2022年2・3月期)

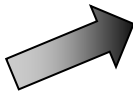






◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

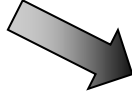
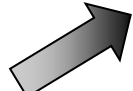

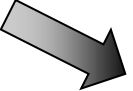
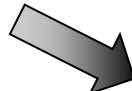
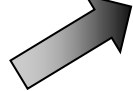
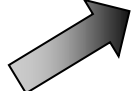
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.3	▲10.0	▲5.0	▲33.8	▲72.5	15.0	1.3

2-3月期の全業種総合の業況D I は、▲11.3（前期比7.6ポイント減）と3期振りの悪化となった。

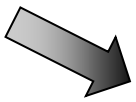
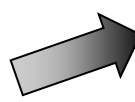
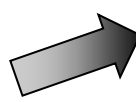
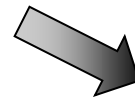
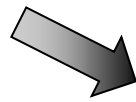
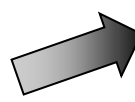
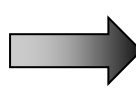
項目別

○今期より悪化⇒売上D I（1.2→▲5.0）、採算D I（▲15.9→▲33.8）、
 仕入単価D I（▲46.3→▲72.5）

○今期より改善⇒従業員D I（11.0→15.0）、金融貸出しD I（1.2→1.3）
 向こう3ヶ月の先行き業況は、▲10.0と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
5. 3	15. 8	31. 6	▲15. 8	▲84. 2	10. 5	0. 0

業況DIは5. 3（前期比14. 7ポイント減）と2期連続の悪化となった。

項目別

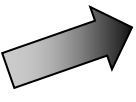
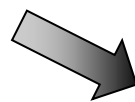
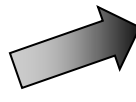
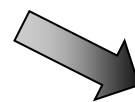
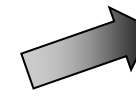

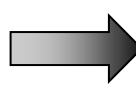
○今期より改善⇒売上DI（20. 0→31. 6）、従業員DI（0. 0→10. 5）

○2期連続改善⇒採算DI（15. 0→▲15. 8）、仕入単価DI（▲50. 0→▲84. 2）

○今期より横ばい⇒金融貸出しDI（0. 0→0. 0）

向こう3ヶ月の業況は、15. 8と改善する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
6. 7	▲20. 0	▲13. 3	▲60. 0	▲73. 3	33. 3	6. 7

業況DIは6. 7（前期比13. 4ポイント増）と3期連続の改善となった。

項目別

○3期連続改善⇒売上DI（▲26. 7→▲13. 3）

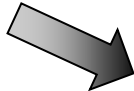
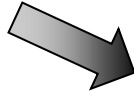
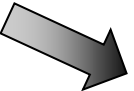


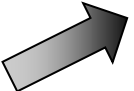
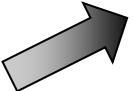
○今期より改善⇒仕入単価DI（▲80. 0→▲73. 3）

○今期より悪化⇒採算DI（▲40. 0→▲60. 0）、

○今期より横ばい⇒従業員DI（33. 3→33. 3）、金融貸出しDI（6. 7→6. 7）

向こう3ヶ月の業況は、▲20. 0と悪化する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲17.6	▲23.5	0.0	▲41.2	▲88.2	41.2	11.8

業況D Iは▲17.6（前期比17.6ポイント減）と3期振りの悪化となった。

項目別

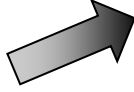
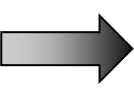
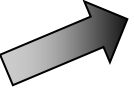
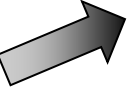

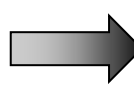
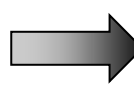
○今期より改善⇒従業員D I（16.7→41.2）、金融貸出しD I（5.6→11.8）

○今期より悪化⇒売上D I（27.8→0.0）、採算D I（▲11.1→▲41.2）、

仕入単価D I（▲33.3→▲88.2）

向こう3ヶ月の業況は、▲23.5と悪化する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲35.3	▲35.3	▲35.3	▲23.5	▲47.1	0.0	0.0

業況D Iは、▲35.3（前期比21.0ポイント増）と2期振りの改善となった。

項目別

○今期より改善⇒売上D I（▲56.3→▲35.3）、採算D I（▲62.5→▲23.5）

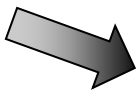
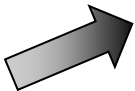

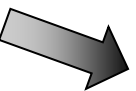

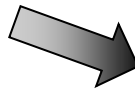
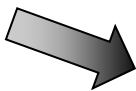
○今期より悪化⇒仕入単価D I（▲18.8→▲47.1）

○5期連続横ばい⇒金融貸出しD I（0.0→0.0）

○今期より横ばい⇒従業員D I（0.0→0.0）

向こう3ヶ月の業況は、▲35.3と横ばいの見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲16.7	16.7	▲16.7	▲33.3	▲66.7	▲16.7	▲16.7

業況D Iは▲16.7（前期比39.8ポイント減）と3期振りの悪化となった。

項目別

○2期連続悪化⇒従業員D I（7.7→▲16.7）、金融貸出しD I（▲7.7→▲16.7）

○今期より悪化⇒売上D I（38.5→▲16.7）、採算D I（15.4→▲33.3）、

仕入単価D I（▲53.8→▲66.7）

向こう3ヶ月の業況は、16.7と改善する見通し。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

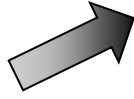
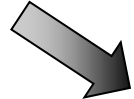
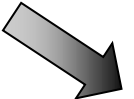
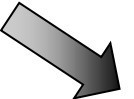
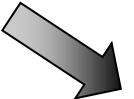
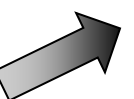
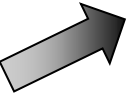
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

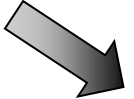

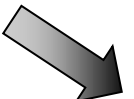
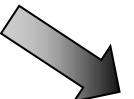
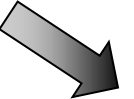
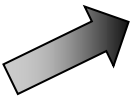
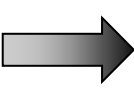
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

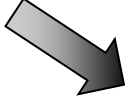
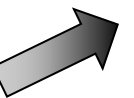
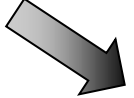
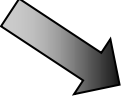
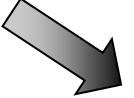
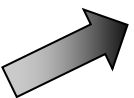
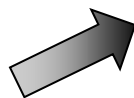
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


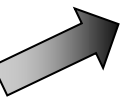
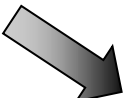
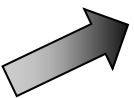
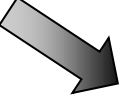
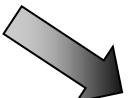
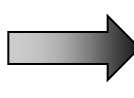
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

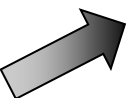
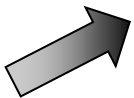
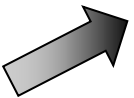
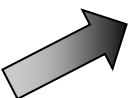
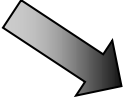
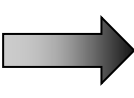
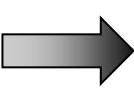
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

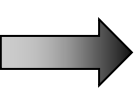
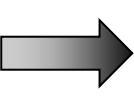
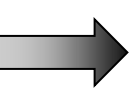
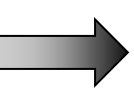
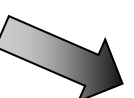

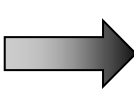
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

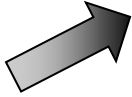
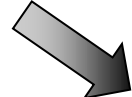
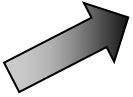
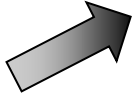
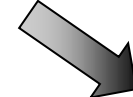
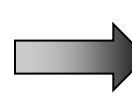

小売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

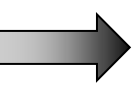
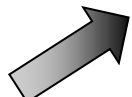
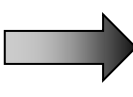
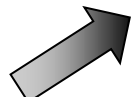
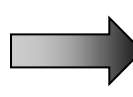
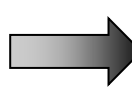
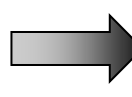
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

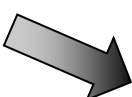
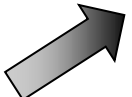

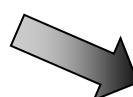
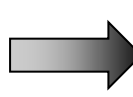

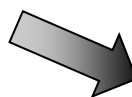
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

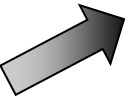
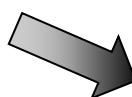
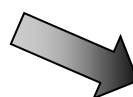

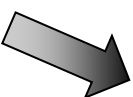
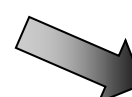
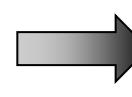
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


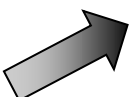



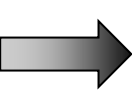

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・ホテル、ブライダル向けの事業が回復傾向となり、オミクロン株が拡大する中で、業況は上向き傾向。しかし、原油価格高騰を背景に原材料や資源の価格が上昇し、利益を圧迫している。

製造業（工業）

- ・輸送費、資材費の高騰により採算は悪化しており、当面はこの状況が続く見込み。
- ・例年と比べ、原料高が異常に高い。

製造業（宝飾）

- ・金やダイヤの高騰、円安、オミクロン株の拡大など、輸入にとって悪影響が大きい。

製造業（ニット）

- ・比較的気温が低い日が続いたこともあり、冬物が9～3月で売れ行きが良く、例年とは異なる結果となった。しかし、物価高の影響により、今後の顧客の衣料品消費は消極的になると予想される。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・原油高騰が続いており、激変緩和措置がとられているが、オミクロン株の感染拡大による人流の減少から業況は悪化している。
- ・取扱商品の入荷の遅れが心配。

【建設業】

建設業（土木）

- ・材料の高騰、材料不足、納期未定等により、小規模の企業は経営が苦しい。

【小売業】

小売業（大型店）

- 1～2月が新型コロナの影響により、底入れ状況となった。3月は気温上昇に伴い、春物衣装や振るギフトが活況。
- 前年同期と同様に苦しい状況が続いている。

小売業（趣味・日用品）

- お客様の来店数がコロナの影響により減少し続けている
- コロナの長期化、物価上昇、原油高騰など、先行き不透明な状況が続いている。

【サービス業】

サービス業（飲食）

- 3月より持ち直し始めたが、燃料高騰や食料品等の値上げにより、依然厳しい状況が続いている。

サービス業（観光）

- コロナ感染者数増加やまん延防止措置の影響により、首都圏との人の流れにブレーキがかかっているが、前年よりは流れが活発であると感じられた。

以上